

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	②	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	環境体験学習推進事業(生涯学習課)	担当課名	生涯学習課
-----	-------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	子どもたちと自然環境とのかかわりを通じて、環境学習を推進する。
(事業概要等)	参加者(泉大津市・日高川町内の小学生)に対し、和歌山大学の教員や学生が作成した教育プログラムを提供し、交流や体験を通じた環境教育を促す。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,386	1,386	1,386	1,443	
うち市負担分(千円)	1,386	1,302	1,298	1,203	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
参加者	人	0	29	11	20
教材冊子	冊	6,000			
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
令和5年度については、和歌山県日高川町で4年ぶりに宿泊キャンプ形式にて環境体験学習を実施。					

【事務の見直し点】

R4年度からの改善点	和歌山大学への委託事業であり、これまでに特段の事務の見直し等の実施はない。
------------	---------------------------------------

【課題(問題点)】

R5年度における課題(問題点)	和歌山大学への委託事業でありながら、生涯学習課職員がキャンプ当日、事前事後学習に複数名参加するなど、様々な事業の担当を兼務する人的資源を割いて事業実施にいたっている点。
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 継続することが環境学習の推進につながると考える一方、委託事業としての事業の組み立て方を検討する必要があるため。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	森林環境体験学習推進事業	担当課名	生涯学習課
-----	--------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
木の温かみ、素朴さを楽しみながら子供たちに作品を作ってもらいながら、森林の役割や問題など人と自然との結びつきを知ってもらう。
(事業概要等)
間伐材を使ったストリングアートを作成するワークショップを行う。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	—	110	110	110	
うち市負担分(千円)	—	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
参加者数	人	—	10	10	10
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
間伐材についての説明を聞き、実際に間伐材を使ったストリングアートを作成するイベントを行った。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 工作体験から本だけでは得ることのできない学習機会を提供できるため
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	①	生涯学習推進体制の整備

事業名	社会教育活動推進事業	担当課名	生涯学習課
-----	------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
社会教育に関し、教育委員会に助言することを任務とする社会教育委員会議の運営を行う。 また、生涯学習を推進するため、大学との連携、公民館活性化等の事業を行う。
(事業概要等)
社会教育活動を推進するため、社会教育委員会議で事業内容について審議を行う。 また、生涯学習を推進するため、公民館等施設活性化事業、親学習事業、識字学習者向けの日本語よみかき教室や、堺・泉北よみかき交流会を実施する。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,525	2,101	2,060	3,531	
うち市負担分(千円)	1,439	1,686	1,834	2,791	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
社会教育委員会議(研修等含む)開催回数	回	3	3	3	3
親学習開催回数	回	7	6	6	6
よみかき教室開設日数	数	36	44	46	45
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
親学習開催回数は、親学習リーダーを中心とした学習会の開催回数であり、学習提供の機会を創出できたと考える。 堺・泉北よみかき交流会を幹事市として実施した。					

【事務の見直し点】

R4年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R5年度における課題(問題点)	地域、学校教育、生涯学習が連携した教育・学習活動をより進めることが課題である。
-----------------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 社会教育委員会議の運営は必須である。 大学連携等についても、引き続き発展的に実施する。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	②	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	団体等育成支援事業(生涯学習課)	担当課名	生涯学習課
-----	------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
社会教育活動に尽力するとともに、活動を通じて市の社会教育の向上に貢献している社会教育関係団体を支援する。
(事業概要等)
社会教育に関わる各団体への助成を行う。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,163	2,341	2,580	2,599	
うち市負担分(千円)	2,163	2,341	2,580	2,599	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
(指標を設定できない理由)					
活動を通じた市の社会教育の向上への貢献を目的とするため、数値化することは困難					
(成果の概要)					

【事務の見直し点】

R4年度からの改善点	各団体に対し、当補助金の活用方法を把握すること等を目的としたヒアリングを実施。
------------	---

【課題(問題点)】

R5年度における課題(問題点)	団体補助であり、運営補助であるので、補助金がどのような事業でどう活用されたのか確認することが難しい。今後は、ヒアリングを含めて各団体とのコミュニケーションを図り、どういった事業や活動に活用する予定なのかを確認しながら、段階的に事業補助へと移行していく必要があると考える。
-----------------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 同上
改革・改善策等の具体的内容	ヒアリング等を通じた補助金の資金使途などの確認。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	④	つながりある教育体制の充実

事業名	放課後子ども教室推進事業(生涯学習課)	担当課名	生涯学習課
-----	---------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
地域の大人の協力を得て、子どもたちに読み聞かせなどを行い、本を読む機会を増やすとともに子どもの居場所づくりと地域住民の交流活動のほか、多様な学びに触れられる環境整備を行う。
(事業概要等)
近隣自治会や地域のボランティア等の協力を得て、学校の図書室を地域開放し、子どもたちの活動拠点(居場所づくり)を確保。読み聞かせなどのイベントを行い、本を読む機会を増やすとともに、さまざまな催しを行うことで、地域住民との交流や生涯学習活動等を支援する。

【事業費】

項目/年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	420	560	560	800	
うち市負担分(千円)	225	300	299	475	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
開設日数(りぶれEBISU)	日	24	43	44	45
開設日数(ミント条東)	日	2	10	10	10
開設日数(ブックランド・あさひ)	日	3	10	10	10
開設日数(くすのきライブラリー)	日		2	10	10
開設日数(条南小学校)	日			2	2
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
小学校の図書室を定期的(りぶれEBISUは週1回、条南小学校は不定期、その他は月1回)に開放し、地域の子どもを中心に読書のほか、さまざまなイベントや催しなどを行うことで、市内における居場所づくり、地域交流の拠点の一つとなっている。					

【事務の見直し点】

R4年度からの改善点	地域の自治会やボランティアの方によって運営される委託事業であるため、これまでに特段の事務の見直し等の実施はない。
------------	--

【課題(問題点)】

R5年度における課題(問題点)	継続的な運営の担い手の掘り起こしや確保。
-----------------	----------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 読書環境や地域の交流拠点の整備には、今後も継続的な実施が必要であるため。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	②	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	学校図書室地域開放事業(生涯学習課)	担当課名	生涯学習課
-----	--------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
地域の大人の協力を得て、子どもたちに読み聞かせなどを行い、本を読む機会を増やすとともに子どもの居場所づくりと地域住民の交流活動のほか、多様な学びに触れられる環境整備を行う。
(事業概要等)
学校図書室開放時に子どもたちのためのイベントを催す際、講師やボランティア等に謝礼を支払う。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	5	30	30	0	
うち市負担分(千円)	5	30	30	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
図書室開放事業に伴うイベント開催日数(4校合計)	日	1	6	6	0
※講師謝礼を伴うもの					
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					

【事務の見直し点】

R4年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R5年度における課題(問題点)	
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	D 休止・廃止	(左記評価の理由) 放課後子ども教室推進事業(生涯学習課)事業へ移行したため
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	②	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	地域部活動推進事業(生涯学習課)	担当課名	生涯学習課
-----	------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
生徒にとって望ましい効果的で持続可能な部活動と学校の働き方改革の実現を目的とする。
(事業概要等)
毎週土曜日の午前中を予定とする、泉大津市吹奏楽団による指導を通じ、吹奏楽部顧問の働き方改革や、生徒の技術力を図るとともに、市内中学校の枠を超えた合同部活動の仕組みの構築及び検証を行う。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)			163	496	
うち市負担分(千円)			0	60	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
指導日数				12	25
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
顧問の休日出勤日数減少及び教職員による指導では難しかった、楽器ごとの練習の実現による生徒の技術向上が図られた。					

【事務の見直し点】

R4年度からの改善点	R5からの新規事業
------------	-----------

【課題(問題点)】

R5年度における課題(問題点)	R5は市内3中学のうち2中学が合同で本事業による部活動を実施したが、R6は全3中学校で実施したい。
-----------------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 生徒にとって望ましい効果的で持続可能な部活動と学校の働き方改革の実現に寄与しているため。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	②	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	おてんのう会館管理運営事業	担当課名	生涯学習課
-----	---------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	地域コミュニティ醸成の場であるおてんのう会館の運営を支援する。
(事業概要等)	おてんのう会館の運営に必要な経費(光熱水費等を除く)を負担し、地域住民の生涯学習の拠点となるよう運営する。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	643	237	243	1,105	
うち市負担分(千円)	643	237	243	1,105	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
延べ利用者数	人	2,074	3,096	2,390	3,500
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
地域住民の生涯学習拠点として利用が図られた。					

【事務の見直し点】

R4年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R5年度における課題(問題点)	公共施設適正配置計画との関連もあり、あり方の検討が必要である。
-----------------	---------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	B 改善し継続	(左記評価の理由) 施設の利用実態に即した運営形態に移行することが望ましいと考える。
改革・改善策等の具体的内容	同施設は周辺自治会等による利用が多く、一般的な自治会館と近い使われ方をしていることから、その運営形態も他の自治会館と同様とするべく、将来的な地域移管を目指した協議を関係者を行う。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	図書館運営・図書館維持管理事業	担当課名	生涯学習課
-----	-----------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
公共図書館として、資料の収集・整理・保存を行い、市民の利用に供し、市民の求める情報等を把握し、読書に親しむ機会を提供する。そして、読書が生活の中に習慣付けられ表現力や想像力等を養っていくうえで、その一助になるよう努める。また、IT化等の推進により利用者の利便性の向上、事務の効率化を図っていく。
(事業概要等)
図書等の整理及び貸出、返却業務(配架も含む)、レファレンス業務、イベント・企画業務、学校等団体貸出業務、予約、蔵書点検、施設の維持管理及び修繕。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	160,966	147,195	148,832	159,954	
うち市負担分(千円)	156,796	145,853	147,244	158,641	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
来館者数	人	203,344	338,303	366,634	400,000
貸出人数	人	59,106	95,804	84,684	90,000
貸出冊数	点	204,306	323,790	330,524	350,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
昨年度に引き続き、多くのお客様にご来館いただき、来館者数は1.1倍の実績となった。サービスの柱であるビジネス支援サービス・学校支援サービス・多種多様なイベントの実施は予定を上回る活動となっている。					

【事務の見直し点】

R4年度からの改善点	SNSによる誘致やイベント開催時に関連本の収集・展示を行い貸出に繋げるなどの工夫を行っている。
------------	---

【課題(問題点)】

R5年度における課題(問題点)	
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 来館者数及びイベント実施数は目標値を大きく上回っているため。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	2	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	ブックスタート事業	担当課名	生涯学習課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
すべての世代が学びあい、育ちあえるまちをめざし、「絵本」を通じて、赤ちゃんと保護者に心地よい・心触れ合う、ひと時を過ごしていただくとともに、「絵本」の素晴らしさを実感・体験してもらう。
(事業概要等)
乳児(4か月)と保護者に絵本を贈り、ボランティアによる読み聞かせを行う。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	586	520	524	281	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
ブックスタート参加率(参加人数/4ヶ月健診対象者)	%	95	95	95	100
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
10月にサポーター養成講座を行い、11月よりサポーターによる読み聞かせを再開。読み聞かせや絵本の受け渡し時に積極的にシープラの概要(設備、イベント等)説明を行うことで、シープラへ足を運んでもらえるきっかけ作りにも貢献する事ができている。通年で563組の親子に配布。					

【事務の見直し点】

R4年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R5年度における課題(問題点)	
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 乳児期に絵本を使って親子のコミュニケーションをはかり、かつ本のある生活により読書を習慣付けることに寄与しているため。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	②	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	南公民館運営事業・南公民館維持管理事業	担当課名	生涯学習課
-----	---------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
すべての世代が学びあい育ちあえるまちをめざし、市民にとって身近な公民館施設は、市民の実生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業の実施をもって、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進及び地域コミュニティの活性化に寄与することを目的とする。また、その事業目的に必要な施設である南公民館の維持管理をする。
(事業概要等)
定期講座・講習会・討論会・講演会・実習会・展示会等を開催する。 図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図る。 体育、レクリエーション等に関する集会を開催する。 各種団体、機関の連絡を図り、施設を住民の集会その他の公共の利用に供する。 南公民館の利用者が快適に使用できるように維持管理をする。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	12,031	20,149	10,061	11,326	
うち市負担分(千円)	11,760	19,817	9,701	11,081	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
各室使用回数	回	2,077	2,457	2,551	3,500
各室使用人数	人	22,286	27,573	26,825	50,000
各クラブ開催回数	回	1,327	1,679	1,738	1,900
各クラブ利用延べ人数	人	15,654	22,298	20,278	26,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
主催講座として、子どもから高齢者までの各階層向けの講座76回開催し、721人(延べ人数)の参加者があった。講座内容については、市民の学習要求の高い趣味・教養などの文化・学習の講座への対応だけでなく、人権学習会を開催するなど現在の課題の学習機会を提供した。また、自主クラブ(46クラブ)の活動に対して場所の提供、運営の助言を行った結果、活発なクラブ活動が展開された。					

【事務の見直し点】

R4年度からの改善点	公民館で学んだことを地域に還元する「知の循環」を進めるため、自主クラブによる出前講座の推進を図った。公民館主催講座を開催し、講座で学んだことを継続して学ぶための自主クラブの立ち上げを推進する。
------------	--

【課題(問題点)】

R5年度における課題(問題点)	利用者の高齢化とクラブ員の減少への対応。公民館活動で身につけた教養を地域社会に還元する活動(知の循環)。現在の課題(生命・健康・人権・高齢化問題等)をテーマとした講座の企画・立案や講師の選定。
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 地域住民の学ぶ意欲を育み、人間関係を育てながら学習情報を提供し、地域住民の親睦や交流の場、文化や体育活動の拠点となっている。館の運営・維持管理は適切に行われ、市民に安心快適に利用されている。
改革・改善策等の具体的内容	令和3年度に「未来の学びの場」に関するワークショップが開催され、令和4年度に「泉大津市教育施設再編計画」が策定され、新たな生涯学習環境の形成に向け、社会環境の変化や市民ニーズを踏まえた環境整備への取り組みが示されたのを受け、公民館の現状と問題点を分析し、事業の検証、見直しを行い、新たな学習機会の企画、立案などを行い、地域の活動支援に取り組む。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	②	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	北公民館運営事業・北公民館維持管理事業・北公民館施設整備事業	担当課名	生涯学習課
-----	--------------------------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
すべての世代が学びあい育ちあえるまちを目指し、市民にとって身近な施設である公民館は、教育、学術、文化及びスポーツ等に関する各種の事業を実施することにより、市民の教養の向上、健康の増進、情操の醸成を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進及び地域コミュニティの活性化に寄与することを目的とする。また、その事業目的に必要な施設である北公民館の維持管理をする。
(事業概要等)
定期講座を開催する。講習会・討論会・講演会・実習会・展示会等を開催する。 図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図る。体育、レクリエーション等に関する集会を開催する。 各種の団体、機関の連携を図り、施設を住民の集会その他の公共の利用に供する。 北公民館の維持管理をする。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	7,702	9,677	11,901	15,207	
うち市負担分(千円)	7,563	9,499	11,705	14,991	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
公民館の各室使用回数	回	1,351	1,759	1,756	2,000
公民館の各室使用人数	人	11,871	15,915	17,193	20,000
各クラブ開催回数	回	1,138	1,439	1,437	1,500
各クラブ利用延べ人数	人	9,991	13,280	12,681	15,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
○北公民館で活動する自主運営クラブに活動場所を提供し、運営の助言を行い、活発な活動が展開されるとともに、その成果を地域に還元する活動を支援した。 ○自治会等の各種団体・地域サークルに活動場所を提供した。					

【事務の見直し点】

R4年度からの改善点	公民館は市民の最も身近な生涯学習拠点として、市民に親しまれるよう主催講座などを開催している。さらに、本市の課題である少子高齢化に対応し、子育て世代や高齢者に役立つ講座の開催と講座参加者の増加に努めた。
------------	--

【課題(問題点)】

R5年度における課題(問題点)	公民館利用者やクラブ連絡会役員の高齢化とクラブ員の減少、それに伴うクラブ自体の減少への対応。
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 地域住民の学ぶ意欲を育み、学びあう人間関係を育てながら、学習情報を提供し、地域住民の親睦や親交の場、集会の場、文化や体育活動の拠点となっている。また、館の運営・維持管理は適切に行われ、市民が安全、安心して快適に利用されている。
	改革・改善策等の具体的内容	市民の学習要求の高い趣味・教養・スポーツなどの文化・学習・健康活動などの対応だけでなく、「集い・学び・結び」をテーマとした、生涯学習に関する発信施設として、公民館での活動内容を地域に還元していくように努めた。加えて、公民館利用者の市民等から組織する市民サポーターチームにより、公民館事業の検証、見直しを行い、新たな学習機会の企画、立案を図り、地域の活動支援に取り組んだ。 北公民館整備事業は令和5年度にて終了。

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	②	文化・芸術・スポーツ活動の支援

事業名	文化活動振興事業	担当課名	生涯学習課
-----	----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
「まちなかアートフェス」を中心とする文化祭事業など成果発表の場の創出や、文化芸術について気軽に話し合うワークショップ「ブンカミーティング」の開催等により、市民の活動意欲を増進させ、本市の文化芸術を振興することを目的とする。
(事業概要等)
市民が広く文化芸術に触れる機会を提供するため、定期的なブンカミーティングの実施や、文化活動を行う団体による市民音楽祭・まちなかアートフェスをはじめとした各種文化祭事業を開催する。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	8,922	8,370	7,868	11,647	
うち市負担分(千円)	8,880	8,331	7,868	11,647	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
市民音楽祭出演団体数	団体	0	19	16	20
文化祭等関連事業参加団体数	団体	10	38	82	100
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
まちなかアートフェス2023では約5,000人の来場者があり、市民が気軽に文化芸術に触れられる機会の創出の第一歩となった。また立体紙切×箏のように、ブンカミーティング発のアイデアから生まれたコラボレーションイベントが実現した。					

【事務の見直し点】

R4年度からの改善点	令和4年度まで開催してきたごかんのおまつりなど従来の文化祭事業を再編し、市民発の企画である「まちなかアートフェス2023」を初開催。また、約50回にわたり開催してきた泉大津市展もΦ(いずみおおつ)ギャラリーに再編するなど、文化芸術の裾野を広げるための大きな改善に取り組んだ。
------------	---

【課題(問題点)】

R5年度における課題(問題点)	まちなかアートフェスにおいては、当日の準備や司会・進行などのイベント運営に携わる市民の数が不足していたため、ブンカミーティングなどの機会を通じて、本事業へ中長期的に関わる市民を育成、発掘することを課題と考える。
-----------------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 各世代の文化芸術活動を推進するため、継続的な実施が必要である。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	1	歴史的・文化的資源の保存と活用

事業名	文化財保存事業	担当課名	生涯学習課
-----	---------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
総合的な地域の文化財の保護や活用をはかる。
(事業概要等)
<ul style="list-style-type: none"> 文化財の指定、および有形・無形文化財の保存や公開をすすめる。 史跡地の公有化をすすめる

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	6,174	4,222	211,506	17,709	
うち市負担分(千円)	6,174	4,222	26,991	3,757	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
池上曾根弥生学習館のべ入館者数	人	4,397	5,942	5,870	12,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
<ul style="list-style-type: none"> 地域の文化財を市民に伝えるための企画展・講座などを実施し、多くの市民が来館した。 史跡池上曾根遺跡の公有化をすすめた。 					

【事務の見直し点】

R4年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R5年度における課題(問題点)	
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 泉大津の歴史・文化は泉大津のアイデンティティそのものであり、後世に受け継ぐべきものであるため、継続して実施する必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	1	歴史的・文化的資源の保存と活用

事業名	文化財発掘調査事業	担当課名	生涯学習課
-----	-----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
開発等により破壊される危険性のある埋蔵文化財の調査等を行うことで、埋蔵文化財の記録保存を進める。
(事業概要等)
埋蔵文化財の発掘調査を推進し、調査報告書を発行する。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,708	1,573	1,582	2,093	
うち市負担分(千円)	1,452	784	800	1,053	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
(指標を設定できない理由)					
民間業者の開発等により発生する緊急調査を数値化することは困難である。					
(成果の概要)					
埋蔵文化財に関する新知見を得て、報告書を発行した。					

【事務の見直し点】

R4年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R5年度における課題(問題点)	年度により発掘件数が大きく変わる可能性があるため、予算見積が難しい。
-----------------	------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 文化財保護法にもとづき、市内の埋蔵文化財を保護、継承していくために継続して実施する必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	1	歴史的・文化的資源の保存と活用

事業名	史料調査保存事業	担当課名	生涯学習課
-----	----------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	泉大津のあゆみを後世に伝えるため、古文書等史料を収集・調査・整理し、文化財資料として保存する。
(事業概要等)	古文書の撮影、翻刻、調査リストの作成・保存・修理

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	2,029	1,183	2,193	2,311	
うち市負担分(千円)	2,029	1,183	1,946	2,008	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
古文書整理点数	件	約5,000	約1,000	約1,000	約1,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
古文書を解読できる専門職員の確保ができておらず、整理の実績値は低下した。しかしながら、これまで調査した古文書調査の結果をデジタルアーカイブ(ORIAMUデジタルヒストリー)による公開することに注力し、古文書や絵図のデータを広く公表することができた。					

【事務の見直し点】

R4年度からの改善点	・整理した史料の活用のため、インターネット上で公開するシステム「ORIAMデジタルヒストリー」にて公開し、周知することができた。
------------	--

【課題(問題点)】

R5年度における課題(問題点)	・専門的な調査・研究・成果報告を続けるための体制を整える必要がある。
-----------------	------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 古文書調査及び整理は市の責務として行うものであり、専門職により継続的かつ地道な作業が不可欠である。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	③生涯学習	②	学習活動の支援及び学習環境の充実

事業名	勤労青少年ホーム運営・維持管理	担当課名	生涯学習課
-----	-----------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
法改正により「勤労青少年」のうち「勤労」及び「勤労青少年ホーム」に関する規定が削除となったが、社会教育関係団体を中心とした活動拠点として運営を行っている。
(事業概要等)
機構改革により、勤労青少年に対する各種の相談事業がなくなり、クラブ活動その他の地域活動の拠点としての管理運営事業を行う。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	11,276	12,297	11,877	13,105	
うち市負担分(千円)	11,077	12,082	11,672	12,829	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
総利用者数	人	12,158	18,527	19,836	19,000
利用者総数(ホーム利用対象者である勤労青年)	人	536	1,154	760	700
(指標を設定できない理由)					
勤労青少年に対しての相談事業は、機構改革により本庁に移管					
(成果の概要)					
当ホームの利用団体及びクラブ等に対し、自主的活動を支援することができた。					

【事務の見直し点】

R4年度からの改善点	
------------	--

【課題(問題点)】

R5年度における課題(問題点)	泉大津市教育施設再編計画等に基づき、今後の施設のあり方について利用者とともに検討が必要である。
-----------------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 施設の老朽化が著しい状態であるが、利用団体が新たな活動場所へ移行するまで継続して活用する。
改革・改善策等の具体的内容	機能や役割を、地域交流ゾーンへの分散配置又は(仮称)生涯学習センターへの集約を行う。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	1	歴史的・文化的資源の保存と活用
事業名	織編館運営事業・織編館維持管理事業		担当課名	生涯学習課

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
暮らしに文化・芸術・スポーツが息づくまちをめざし、近代泉大津の歴史・文化・経済の基礎となる繊維関連資料及び民俗資料等の収集・保存を推進し、調査・研究体制の充実をはかるとともに、博物館活動を充実させることを目的とする。
(事業概要等)
<ul style="list-style-type: none"> ・本市の文化財・繊維産業の歴史について調査・研究・展示を行い、それについて市民に学ぶ機会を提供する。 ・毛布の縁で作製した布ぞうりである「モフ草履」や手織り体験などの体験学習を通じ、泉大津が毛布とともに歩んできた歴史を広く情報発信する。 ・地域包括連携を締結している桃山学院大学と共に、大学連携事業を実施する。 ・デジタルアーカイブ「ORIAMデジタルストーリー」を活用し、広く本市の文化財について周知する。

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	11,515	24,113	33,571	13,926	
うち市負担分(千円)	11,227	23,927	13,094	13,671	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
体験学習受講者等	人	160	229	237	300
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
<ul style="list-style-type: none"> ・シーブラの「はじまりウォール」、「おりあみゆー」等を活用し、展示内容の充実をめぐることで、来館者に対して本市の文化財や繊維産業の歴史等について周知を図ることができた。 ・定期的な展示替えの実施や桃山学院大学との連携による特別展等の開催などにより、常に新たな情報発信を続けることで、さらなる関心・興味喚起に資することができた。 ・年間を通して、織りや毛布産業に関する体験学習を実施し、前年度実績を上回ることができた。 ・デジタルアーカイブ「ORIAMデジタルストーリー」を市内小中学校の授業で活用していくための教員向け研修を実施し、一定の成果を得た。 					

【事務の見直し点】

R4年度からの改善点	体験学習講座の実施のために、ボランティア、実施協力者の育成を実施した。ORIAMUデジタルストーリーを学校教育の場で一層活用するため、デジタルアーカイブ資料の教材化ワークショップを実施した。
------------	---

【課題(問題点)】

R5年度における課題(問題点)	講座内容や開催時期等により受講者数にばらつきがある。ORIAMUデジタルストーリーを活用していくため、掲載資料を継続的に追加していく必要がある。
-----------------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由)
		歴史的資料の収集・保存や研究、活用を図っていくことは市の責務であり、事業を通じて本市の歴史や文化を後世に伝えていくためにも、現行どおり実施していく必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	②学びあうひとづくり彩りあるまちづくり	④文化・芸術・スポーツ	1	歴史的・文化的資源の保存と活用

事業名	学習館運営・維持管理事業	担当課名	生涯学習課
-----	--------------	------	-------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
暮らしに文化・芸術・スポーツが息づくまちをめざし、池上曾根遺跡の遺物展示のほか、古代のものづくり体験などを通じて、弥生文化の理解を深めることを目的とする。
(事業概要等)
<ul style="list-style-type: none"> ・弥生時代の遺物の展示(大型建物掘立柱・大井戸枠など) ・体験学習(勾玉づくり、土器づくり、土笛づくりなど) ・弥生の米づくり体験講座(おうち田んぼ、火起こし炊飯など) ・夏冬春休みの体験講座(「土面づくり」「粘土で干支づくり」「草木染め」など) ・伝統産業講座(ガラス細工など)

【事業費】

項目／年度	R03 (決算額)	R04 (決算額)	R05 (決算見込額)	R06 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	14,988	16,209	11,917	16,684	
うち市負担分(千円)	14,215	12,578	10,708	12,841	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	R03年度 実績値	R04年度 実績値	R05年度 実績値	R06年度 目標値
入館者数	人	4,397	5,942	5,870	12,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
<ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修に伴う長期の休館(9月～2月)により、年間入館者は低位であるが、目標の97%を達成した。 ・弥生時代の展示を通して、弥生文化への理解を深めることができた。 ・体験学習を通じて、参加者に弥生時代の人々の暮らしなど歴史に対する興味を持つ「きっかけづくり」ができた。 ・各種の体験講座を通じて、参加者に池上曾根遺跡を中心とした市の歴史を伝えることができた。 					

【事務の見直し点】

R4年度からの改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修に伴う長期の休館時には、シープラや弥生博などでアウトリーチを行ったり、体験のひろば(野外)での火おこし・炊飯体験などに注力した。 ・SNSを活用した館のPRや、情報発信に努めた。 ・新たな魅力醸成のため、体験講座と企画展を連動させることによるシナジーを狙った。
------------	--

【課題(問題点)】

R5年度における課題(問題点)	<ul style="list-style-type: none"> ・開館から20年余が経過し、顕在化する老朽部分に大規模な改修を施したが、今後も施設を適切に維持管理するため怠りなく補修修繕を進めていく必要がある。 ・近隣施設の大阪府立弥生文化博物館、和泉市弥生情報館と連携し、池上曾根史跡公園全体の活性化を図る必要がある。
-----------------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市の歴史遺産を後世に伝えることは行政の責務であり、継続していく必要がある。
改革・改善策等の具体的内容	令和2年度に、弥生学習館も含めた池上曾根遺跡の持続的な保存活用方法等の指針となる「史跡池上曾根遺跡保存活用計画」を策定し、令和3年度に史跡池上曾根遺跡再整備計画を策定した。今後、計画に基づき館の再整備を進めていく。	